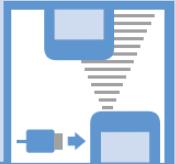


通信



13

赤外線通信	13-2	便利な機能	13-17
赤外線通信について	13-2	Bluetooth®に関する機能	13-17
赤外線通信を利用する	13-3	Wi-Fiに関する機能	13-17
Bluetooth®	13-5		
Bluetooth®について	13-5		
Bluetooth®機器を検索して登録する	13-6		
Bluetooth®機器と接続する	13-6		
Bluetooth®機能を使って通話する	13-7		
Bluetooth®機能を使って音楽や音声などを再生する	13-7		
Bluetooth®機能を停止する	13-7		
Bluetooth®機器を接続待機にする	13-8		
パソコン接続	13-9		
パソコン接続について	13-9		
データ転送	13-9		
USBモードを設定する	13-9		
メモリカードのデータをパソコンで操作する	13-9		
データ通信について	13-10		
Wi-Fi	13-11		
Wi-Fiについて	13-11		
Wi-Fi機能を有効にする	13-13		
Wi-Fiに接続する	13-14		
優先接続先を設定する	13-15		
Wi-Fiコンテンツを利用する	13-16		



赤外線通信について

赤外線通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

また、本機は高速赤外線通信方式であるIrSimple™規格に対応しています。同規格に対応した携帯電話やプリンタなどに、大容量のデータをすばやく転送できます。

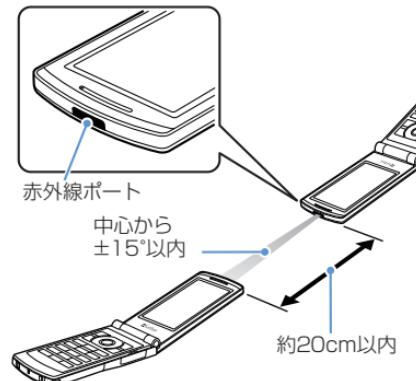
転送できるデータは以下のとおりです。

- ・静止画（画像）
- ・メロディ
- ・動画
- ・マイ繪文字
- ・ミュージック
- ・電子ブック
- ・ウィジェットコンテンツ
- ・PDFファイル
- ・電話帳、オーナー情報
- ・スケジュール
- ・To Doリスト
- ・受信メール、送信メール（S!メール、SMS）
- ・保存メール（S!メール、SMS）
- ・テキストメモ
- ・定型文
- ・ユーザ辞書
- ・ブックマーク（Yahoo!ケータイ、PCサイトブラウザ）

データを転送するときのご注意

- 相手側の機器の状態によっては、データを転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコレーメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- データ転送中は窓外となり、音声電話やTVコール、インターネット、S!メールなどは利用できません。また、データ転送終了後、しばらく窓外の状態が続く場合があります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
- 通信状況を表すバー表示は転送した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。
- メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。

- 赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。



- 通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。



認証パスワードについて

データをまとめて転送するときは、送信側と受信側の機器を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

赤外線通信を利用する

データを1件送信する

送信したいデータの一覧画面／詳細画面から1件送信を行います。

- 1 各種データの一覧画面で目的のデータを選択／各種データの詳細画面 \Rightarrow [] \Rightarrow 「赤外線送信」 \Rightarrow ●

2 相手側の機器を受信状態にする

- 3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける
 \Rightarrow 「YES」 \Rightarrow ●

データの送信がはじまります。

送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■送信を中止する場合



注意

- USIMカードに保存された電話帳は送信できません。

補足

- JPEG形式の画像データの場合は、一覧画面で [] を押して高速赤外線通信（IrSS™機能）を行うことができます。
- 画像データの高速赤外線通信（IrSS™機能）では、相手側の機器が正常に受信できなかった場合でも、送信側では正常に終了します。

データを1件受信する

- 1 ● \Rightarrow 「ツール」 \Rightarrow ● \Rightarrow 「赤外線受信」 \Rightarrow ● \Rightarrow 「受信」 \Rightarrow ●

- 2 赤外線ポートを相手側の機器に向ける
 \Rightarrow 相手側の機器がデータを送信
データの受信がはじまります。

■受信を中止する場合



- 3 受信が終了したら「YES」 \Rightarrow ●

受信したデータが登録されます。

受信後約30秒間操作しない場合は、受信したデータが破棄されます。

データをまとめて送信する

送信したいデータの一覧画面／詳細画面から全件送信を行います。

- 1 各種データの一覧画面／詳細画面で [] \Rightarrow 「赤外線全送信」 \Rightarrow ● (\Rightarrow ●)

- 2 端末暗証番号を入力 \Rightarrow ● \Rightarrow 認証パスワードを入力

3 相手側の機器を受信状態にする

- 4 赤外線ポートを相手側の機器に向ける
 \Rightarrow 「YES」 \Rightarrow ●

データの全送信がはじまります。

送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■全送信を中止する場合



注意

- 静止画（画像）、メロディ、動画、マイ絵文字、ミュージック、電子ブック、ウィジェットコンテンツは全送信できません。
- USIMカードに保存された電話帳は送信できません。

データをまとめて受信する

- 1 ● \Rightarrow 「ツール」 \Rightarrow ● \Rightarrow 「赤外線受信」 \Rightarrow ● \Rightarrow 「全受信」 \Rightarrow ●

- 2 端末暗証番号を入力 \Rightarrow ● \Rightarrow 認証パスワードを入力

- 3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける
 \Rightarrow 「YES」 \Rightarrow ●

相手側の機器がデータを送信すると、データの全受信がはじまります。

**4 上書き確認画面が表示されたら**

「YES」⇒●

データの全受信がはじまります。

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

■全受信を中止する場合

⇒□

注意

- データを全受信すると、受信したデータにより本機に登録されていたデータは上書きされます。メールを全受信すると保護メール、電話帳やスケジュールを全受信すると登録されていたシークレットデータも含めすべてのデータが削除され上書きされます。
- データを受信中に最大登録・保存件数に達した場合は、その時点で受信は中止されます。

もっと使いこなそう

設定

電話帳に関する設定

- 赤外線通信で電話帳の画像を転送しないようにする

(▶ P.14-12)

ボタンイルミネーションに関する設定

- 赤外線通信中のイルミネーションを設定する

(▶ P.14-30)

Bluetooth®について

Bluetooth®とは、Bluetooth®対応機器（ワイヤレスヘッドセット、ハンズフリー機器、オーディオ機器など）をワイヤレスで接続し、データを送受信するための通信方式です。
本機のBluetooth®の仕様は以下のとおりです。

通信方式	Bluetooth® 標準規格 Ver.2.0+EDR 準拠
対応プロファイル	HSP: Headset Profile (ヘッドセット通信) HFP: Hands-Free Profile (ハンズフリー通話) A2DP: Advanced Audio Distribution Profile (ステレオ音声、高音質オーディオ通信) AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile (AV機器のリモコン機能)

Bluetooth®利用時の注意

- 本機はすべての Bluetooth® 機器との接続／動作を保証するものではありません。
- 接続するBluetooth®機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth®標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 相手機器が Bluetooth® 標準規格に適合しても、相手機器の特性や仕様によっては接続でき

なかつたり、操作方法や表示、動作などが異なつたり、データの送受信ができなかつたりすることがあります。

- Bluetooth®機器が使用する電波帯 (2.4GHz) は、いろいろな機器が共有して使用する電波帯です。このため、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が遮断されることがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をすると、接続機器や通信環境により雑音が入ることがあります。
- 著作権保護規格「SCMS-T」に非対応のBluetooth®機器では、テレビの音声を聞くことはできません。
- Bluetooth®機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ・ 3G端末やワイヤレス接続するBluetooth®機器は、無線LANと10m以上離してください。
 - ・ 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

本機のBluetooth®通信サービス

ヘッドセットサービス	Bluetooth®対応のワイヤレスヘッドセットと接続すると、ワイヤレス通話ができます。
ハンズフリーサービス	Bluetooth®対応のカーナビなどを接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを使ってハンズフリーで通話ができます。
オーディオサービス	Bluetooth®対応のワイヤレスヘッドホンやオーディオ機器と接続すると、ワイヤレスで音楽やテレビなどの音声を楽しめます。

注意

- ・ ワイヤレスヘッドセット、ハンズフリー対応機器と接続時に、着信音送出設定を「送らない」に設定し、イヤホン切替設定が「イヤホン＋スピーカー」の場合は、本体からも着信音が鳴動します。



Bluetooth® 機器を検索して登録する

Bluetooth® 機器を検索して登録します。

- 1 ○⇒「ツール」⇒○⇒
「Bluetooth」⇒○



Bluetoothメニュー画面

- 2 「新規機器登録」⇒○

Bluetooth® 機器の検索がはじまります。
検索が終了すると、検索に応答したBluetooth®
機器が登録機器リスト画面に表示されます。

- 3 登録したい機器を選択⇒○⇒「YES」
⇒○

■ Bluetooth® パスキーの入力が必要な場合

⇒Bluetooth® パスキーを入力⇒○

送信側／受信側で同じBluetooth® パスキー
(4~16桁) を入力します。

受信側は、送信側が入力したあと30秒以内に
同じBluetooth® パスキーを入力してください。

相手がハンズフリー機器などのときは、ハンズ
フリー機器側で決められているBluetooth®
パスキーを入力してください。

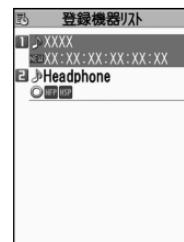
補足

- Bluetooth® 機器が登録されていないときは、
Bluetoothメニュー画面で「登録機器リスト」
を選択しても検索して登録できます。

Bluetooth® 機器と接続する

登録したBluetooth® 機器と接続します。

- 1 【Bluetoothメニュー画面】で「登録機
器リスト」⇒○



登録機器リスト画面

■新たにBluetooth® 対応機器を検索する場合

⇒○

- 2 目的の機器を選択⇒○

- 3 サービスを選択⇒○

Bluetooth® 機器と接続されると「❶(青色)」
が点滅します。一定時間、Bluetooth® 機器と
の通信がないと、省電力状態となり「❷(黒
色)」の点灯に変わります。

複数のサービスで接続できる機器のときは、統
けて別のサービスにも接続するかどうかの確
認画面が表示されます。



■接続中のサービスを停止する場合

⇒●⇒「YES」⇒●

登録機器リスト画面の見かた

登録されているBluetooth®機器の種別や対応サービスなどがアイコンで表示されます。



登録機器リスト画面

① 機種種別※1	□: パソコン ■: 電話	♪: AV機器 ⌚: その他の機器
② 登録状態	○: 登録済み ■: 未登録（新規検出）	
③ 対応サービス※2	HSP: ヘッドセットサービス HFP: ハンズフリーサービス A2DP: オーディオサービス RCF: リモコンサービス	

④

機器名称

未登録の機器はBluetooth®アドレスが表示されます。

※1 保護されている機器には鍵マークがついたアイコンが表示されます。

※2 対応サービスの状態を以下のように表示します。

表示例	文字	背景	枠	状態
	灰色	—	—	接続履歴なし
	白色	—	—	接続履歴あり
	白色	—	白色	接続待機中
	黒色	緑色	白色	接続中

Bluetooth®機能を使って音楽や音声などを再生する

オーディオサービスでBluetooth®機器と接続して、ミュージックプレーヤーの音楽やテレビの音声などを再生します。

1 目的のBluetooth®機器と接続する

2 音楽やテレビを再生する

補足

- Bluetooth®機器で再生中の音量はBluetooth®機器側で調節できます。
- オーディオ機器とオーディオサービスで一度接続すると、接続履歴として記憶されます。本機のBluetooth®機能を有効（Bluetoothオン）にしている場合、接続履歴があるオーディオ機器は音楽やテレビを再生する際に、自動的にオーディオサービスで接続されます。

Bluetooth®機能を停止する

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、Bluetooth®機能をOFFにします。

1 [Bluetoothメニュー画面] で「Bluetoothオフ」⇒●⇒「YES」

⇒●

1 目的のBluetooth®機器と接続する

2 Bluetooth®機器で電話をかける／受ける

□を長押し（1秒以上）するたびに、Bluetooth®機器と本機で通話が切り替わります。

補足

- Bluetooth®機能を有効にする場合は、以下のように操作します。
【Bluetoothメニュー画面】で「Bluetoothオン」
⇒●

Bluetooth®機器を接続待機にする

登録しているすべてのBluetooth®機能の接続待機状態を設定します。

1 【Bluetoothメニュー画面】で「接続待機」 ⇒●

2 「全待機」 ⇒●

■サービスごとに設定する場合

⇒「個別設定」 ⇒● ⇒目的のサービスを選択 ⇒○

チェックボックスにチェックをつけたサービスが接続待機になります。

■すべての接続待機を解除する場合

⇒「全解除」 ⇒●

もっと使いこなそう

便利な機能

- Bluetooth®に関する機能
- 登録機器を保護する
 - 登録機器の名称を変更する
 - 登録機器を削除する
 - 登録機器の情報を表示する

(▶ P.13-17)

設定

Bluetooth®に関する設定

- Bluetooth®機器を検索する時間を設定する
- ヘッドセットやハンズフリー機器に音声電話／TVコールの着信音を送信するかどうかを設定する
- 外部機器から電話をかけられるかどうかを設定する
- 本機のBluetooth®機能の情報を確認する

(▶ P.14-32)



パソコン接続について

本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、以下の機能を利用できます。

- USBケーブルはオプション品です。

データ転送*	本機の電話帳やスケジュールおよびTo Doリストのデータをパソコンとやりとりできます(P.13-9)。
USBメモリ	メモリカードをセットした本機をパソコンの外部ドライブとして認識し、メモリカード内のファイルの読み出し／書き込みができます(P.13-9)。
MTPモード	「Windows Media® Player」を使用して、音楽データをメモリカードに登録することができます(P.9-4)。

* あらかじめ、USBドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーについて

USB ドライバーは、本機とパソコンを接続するためには必要なソフトウェアです。まずこのソフトウェアをパソコンにインストールしてください。インストール方法については、以下のサイトを参照してください。

<http://www.n-keitai.com/guide/download/>

データ転送

ソフトバンクユーティリティーソフトを使うと、USBケーブルでパソコンと本機を接続して、さまざまなデータをパソコン上で利用することができます。ソフトバンクユーティリティーソフトについては以下のサイトを参照してください。

<http://www.n-keitai.com/guide/download/>

* ソフトバンクユーティリティーソフトを利用するにはUSBドライバーをインストールする必要があります。

USB モードを設定する

パソコンと本機を接続してさまざまな機能を利用するためにはUSBモードを設定します。

ソフトバンクユーティリティーソフトを使用する場合や、本機を外部モ뎀としてパケット通信を行う場合は、「通信モード」に設定します。パソコンから本機に取り付けられたメモリカードのデータを操作する場合は、「microSDモード」に設定します。

1 ○⇒「設定」⇒○⇒「外部接続」
⇒○⇒「USB モード設定」⇒○

2 「通信モード」／「microSDモード」
⇒○

メモリカードのデータをパソコンで操作する

本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、本機に取り付けられたメモリカード内のデータをパソコンから操作できます。

- あらかじめ「USBモード設定」を「microSDモード」に設定しておいてください。

1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する

パソコンからメモリカード内のデータを操作できるようになります。

2 操作が終わったら本機とパソコンをUSBケーブルから取り外す

各OSの安全に取り外す方法でパソコンからUSBケーブルを取り外してください。

注意

- ・ 本機とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- ・ 本機の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。本機の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- ・ パソコンから本機へのデータコピー中はUSBケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。



データ通信について

本機をパソコンの外部モデムのように使って、パケット通信を行います。

- パソコンの通信設定などについては、ご契約されたプロバイダの説明書、またはお手持ちのパソコンの取扱説明書を参照してください。
- プロバイダ不要の「アクセスインターネット」でデータ通信をご利用になるときは、アクセスポイントや設定方法、サービス概要などを「3Gサービスガイド」でご確認ください。

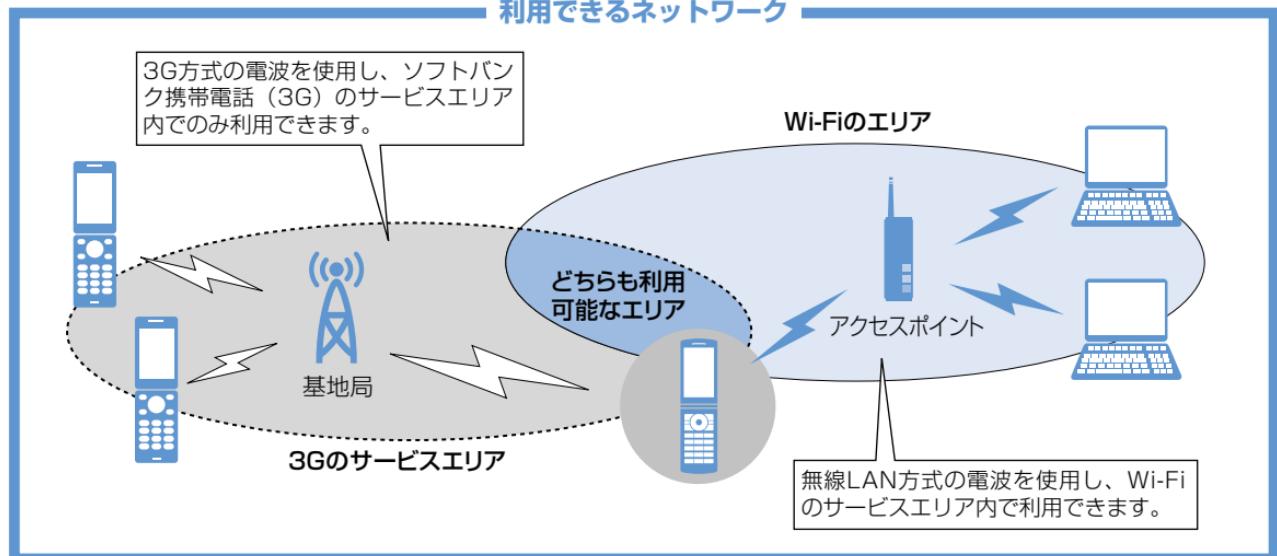


Wi-Fiについて

自宅の無線LANや公衆無線LANを利用してインターネットに接続することができます。

- Wi-Fiを利用するには別途ご契約が必要です。契約していないと、「ON／OFF設定」を除くWi-Fiのメニューを選択することができません。
- 3G／GSM通信よりも高速にインターネットを利用できます。3Gのサービスのエリア外でもWi-Fiのエリア内であればインターネットを利用できます。利用シーンやネットワークの電波状態などに応じて、利用するネットワークを設定できます。
- ケータイWi-Fiでは、自宅の無線LANや公衆無線LANを利用してYahoo!ケータイに接続し、快適な無線LAN通信を楽しめます。
- ダイレクト接続を利用すると、自宅の無線LANアクセスポイントや公衆無線LANアクセスポイントにPCサイトブラウザで接続できます（Yahoo!ケータイには接続できません）。

利用できるネットワーク





Wi-Fi利用時の注意

- Wi-Fiは国内でのみ利用できます。海外では、「ON/OFF設定」が「OFF」に切り替わり、Wi-Fiは利用できません。
- Wi-Fiを利用するには、「ON/OFF設定」を「ON」に設定しておく必要があります。Wi-Fiを利用しない場合は「OFF」に設定してください。「ON」にしている場合はWi-Fi接続を優先して使用します。
- Wi-Fi通信使用中は電波状況の変化によって、自動で3G通信に切り替わることがあります。3G通信ではパケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- ケータイWi-Fiで対応しているサービスについては、ソフトバンクモバイルホームページ(<http://www.softbank.jp>)をご覧ください。
- Wi-Fiで利用できるのは、インターネットへの接続のみです。音声電話やTVコール使用時には3Gのサービスエリア内でご利用ください。
- ネットワーク（インターネット）接続型S!アプリは、Wi-Fi通信では利用できません。

● Bluetooth®機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth®機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雜音や接続不能の原因になる場合があります。また、本機とBluetooth®機器を接続中に無線LANを使用した場合にも同様の事象が発生することがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- ・ 3G端末やワイヤレス接続するBluetooth®機器は、無線LANと10m以上離してください。
- ・ 10m以内で使用する場合は、Bluetooth®機器の電源を切ってください。
- ・ 本機のBluetooth®機能と同時に使用しないでください。

Wi-Fiご利用の流れ

アクセスポイントの登録

アクセスポイントの設定に必要な情報をあらかじめ確認してください。

アクセスポイントの登録には、以下のような方法があります。

- かんたん設定(AOSS)(P.13-14)
- かんたん設定(WPS)(P.13-14)
- アクセスポイント検索(P.13-14)
- 手動設定(P.13-15)

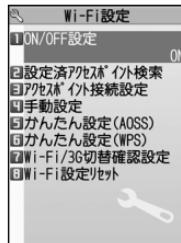
通信の開始

Wi-Fiのエリア内に入ると、自動的に登録したアクセスポイントに接続され、通信が可能になります。

ディスプレイに表示されるWi-Fi受信アイコンで通信の状態が確認できます(P.13-13)。

Wi-Fi機能を有効にする

1 ○⇒「設定」⇒○⇒「Wi-Fi設定」



Wi-Fi設定画面

2 「ON／OFF設定」⇒○⇒「ON」



「優先接続先設定」に登録したアクセスポイントを優先順に検索して接続します。

注意

- 従量課金制の公衆無線LANサービスを利用する場合、ログアウトの処理が行われるまで、利用料金がかかりますのでご注意ください。サービスの利用後はログアウトのため、ON／OFF設定を「OFF」にすることをおすすめします。

補足

- 待受画面で□を長押し(1秒以上)しても「ON／OFF設定」を行えます。
- ON／OFF 設定を「ON」に設定しているとき、設定済のアクセスポイントのエリア外からエリア内に入った場合、自動的に接続されます。
- Wi-Fiを一定期間利用しなかったときは、自動的に「OFF」に切り替わります。

Wi-Fi受信アイコンについて

通信モードによって、ディスプレイに表示される受信レベルのアイコンが変化します。

	3G通信で通信中
	ケータイWi-Fi接続で接続中
	ダイレクト接続で接続中
	ケータイWi-Fi接続またはダイレクト接続で通信中
	Wi-Fi圏外

注意

- 3G通信で通信中の場合、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- Wi-Fi圏外アイコン「●」が表示されているときは、連続待受時間が短くなる場合がありますのでご注意ください。
- ケータイWi-Fi接続で接続する場合、ケータイWi-Fi接続中アイコン「■」が表示されていることを確認し、使用してください。
- ダイレクト接続で通信する場合、接続中のアイコン「◆」が表示されていることを確認し、使用してください。



Wi-Fiに接続する

Wi-Fiに接続するために必要な設定を簡単な操作で行えます。

- かんたん設定(AOSS)／かんたん設定(WPS)の設定中は圏外となり、音声電話やTVコール、インターネット、S!メールなどは利用できません。また、設定が失敗すると、しばらく圏外の状態が続く場合があります。
- かんたん設定(AOSS)／かんたん設定(WPS)／アクセスポイント検索でプロファイルの設定を行った場合、自動的に優先接続先設定にプロファイルが登録されます。

かんたん設定(AOSS)で接続する

AOSSはアクセスポイントのボタンを押すだけで簡単にWi-Fi接続することができる機能です。

- アクセスポイントがAOSSに対応している場合のみ利用できます。

1 [Wi-Fi設定画面]で「かんたん設定(AOSS)」 \Rightarrow ○

2 「ケータイWi-Fi接続用」／「ダイレクト接続用」 \Rightarrow ○

3 アクセスポイントのAOSSボタンをランプが点滅するまで押す
プロファイルの登録が完了し、Wi-Fiに接続します。

かんたん設定(WPS)で接続する

WPSは、「PINコード入力方式」または「プッシュボタン方式」の設定方式を利用してWi-Fi接続するための機能です。

- アクセスポイントがWPSに対応している場合のみ利用できます。

1 [Wi-Fi設定画面]で「かんたん設定(WPS)」 \Rightarrow ○

2 「ケータイWi-Fi接続用」／「ダイレクト接続用」 \Rightarrow ○

▶ PINコード入力方式で設定する場合
「PINコード入力方式」 \Rightarrow ○ \Rightarrow アクセスポイントを選択 \Rightarrow ○ \Rightarrow 表示されたPINコードをアクセスポイントに入力

▶ プッシュボタン方式で設定する場合
「プッシュボタン方式」 \Rightarrow ○ \Rightarrow アクセスポイントのプッシュボタンを押す

プロファイルの登録が完了し、Wi-Fiに接続します。

アクセスポイントを検索して接続する

1 [Wi-Fi設定画面]で「アクセスポイント接続設定」 \Rightarrow ○ \Rightarrow 「アクセスポイント検索」 \Rightarrow ○

2 接続したいアクセスポイントを選択
 \Rightarrow ○

が表示されているアクセスポイントを選択した場合は、「セキュリティ方式設定」(P.14-33)でセキュリティキーの入力が必要となります。

3 「YES」 \Rightarrow ○

4 各項目を設定 \Rightarrow □

設定できる項目についてはP.14-32を参照してください。

プロファイルの登録が完了し、Wi-Fiに接続します。



手動でアクセスポイントを登録する

プロファイルごとに内容を個別に設定して接続することができます。

- 1** [Wi-Fi設定画面] で「手動設定」



手動設定画面

- 2** 「プロファイル設定」 プロファイルを選択

- 3** 各項目を設定 (2回) (完了)
設定できる項目についてはP.14-32を参照してください。

- 4** 優先接続先 (P.13-15) に設定する

BBモバイルポイント／ソフトバンクWi-Fiスポットに接続する

本機にはBBモバイルポイントとソフトバンクWi-Fiスポットのプロファイルが初期登録されています。IDとパスワードを設定するだけで、簡単に接続することができます。

- BBモバイルポイント／ソフトバンクWi-Fiスポットについては、ソフトバンクモバイルホームページ (<http://www.softbank.jp>) をご覧ください。

- 1** [手動設定画面] で「プロファイル設定」 「BBモバイルポイント」／「Wi-Fiスポット」

- 2** 「公衆無線LAN設定」 「ON」

- 3** 「ID」 IDを入力

- 4** 「パスワード」 パスワードを入力

- 5** (3回) (完了)

- 6** 優先接続先 (P.13-15) に設定する

注意

- ・「ID」、「パスワード」以外のプロファイルを変更した場合、BBモバイルポイント／ソフトバンクWi-Fiスポットに接続できなくなることがあります。誤って変更した場合にはプロファイルの初期化 (P.13-18) を行ってください。プロファイル初期化後は、再度設定を行ってください。

優先接続先を設定する

Wi-Fi接続するときに優先して使用する接続先（アクセスポイント）を設定します。

- 1** [Wi-Fi設定画面] で「アクセスポイント接続設定」

- 2** 「優先接続先設定」



項目番号の上から
順に優先して接続
されます。

- 3** 優先順位を選択 プロファイルを選択



Wi-Fiコンテンツを利用する

Wi-Fiコンテンツを利用すると、簡単に大容量の動画を楽しむことができます。

- 1 (●) 「ニュース／エンタメ」 ⇔ (●)
「Wi-Fiコンテンツを探す」 ⇔ (●)
「YES」 ⇔ (●)

以降は、画面の指示に従って操作してください。

もっと使いこなそう

便利な機能

アクセスポイントの管理で利用できる機能

- 設定済みのアクセスポイントに接続する
- 接続状態とMACアドレスを確認する

(▶ P.13-17)

プロファイルの管理で利用できる機能

- プロファイル設定を確認する
- プロファイル設定を変更する
- プロファイルをコピーする
- プロファイル設定を初期化する

(▶ P.13-17)

優先接続先の管理で利用できる機能

- 優先接続先を追加する
- 優先接続先を上書きする
- 優先接続先を挿入する
- 優先接続先を削除する
- 優先接続先の優先順位を変更する

(▶ P.13-18)

設定

Wi-Fiに関する設定

- Wi-Fi／3G切り替え時に確認画面を表示するかどうかを設定する
- Wi-Fi設定を初期状態に戻す
- プロファイル名を変更する
- ESSIDを設定する
- 無線モードの設定を選択する
- IPアドレスを設定する
- DNSサーバーを設定する
- HTTPプロキシサーバーを使用する
- セキュリティ方式を設定する
- 公衆無線LANを使用できるように設定する
- 通信モードを設定する

(▶ P.14-32)



Bluetooth®に関する機能

開始画面はここから

【登録機器リスト画面】 P.13-6

登録機器を保護する

【登録機器リスト画面】 ⇒ 目的の機器を選択 ⇒ ⇒ 「保護設定」 ⇒ ●

⌚ すでに保護されている場合、「保護設定」を選択すると保護が解除されます。

登録機器の名称を変更する

【登録機器リスト画面】 ⇒ 目的の機器を選択 ⇒ ⇒ 「機器名称変更」 ⇒ ● ⇒ 名称を入力 ⇒ ●

登録機器を削除する

【登録機器リスト画面】 ⇒ 削除する機器を選択 ⇒ ⇒ 「登録機器削除」 ⇒ ● ⇒ 「YES」 ⇒ ●

登録機器の情報を表示する

【登録機器リスト画面】 ⇒ 目的の機器を選択 ⇒ ⇒ 「登録機器情報表示」 ⇒ ●

Wi-Fiに関する機能

開始画面はここから

【Wi-Fi設定画面】 P.13-13

【手動設定画面】 P.13-15

【優先接続先設定画面】 P.13-15

アクセスポイントの管理で利用できる機能

設定済みのアクセスポイントに接続する

【Wi-Fi設定画面】 ⇒ 「設定済アクセスポイント検索」 ⇒ ●

⌚ 待受画面で ● を長押し（1秒以上）しても、「設定済アクセスポイント検索」を行えます。

接続状態とMACアドレスを確認する

【手動設定画面】 ⇒ 「情報表示」 ⇒ ● ⇒ 「接続ステータス」 / 「MACアドレス」 ⇒ ●

⌚ 接続ステータスには接続プロファイル名、ESSID、接続中チャネルの状態が表示されます。●を押すと接続ステータスを更新します。

⌚ MACアドレスはWi-Fiでホストを識別するために設定される固有のハードウェアアドレスです。初期状態では「00:00:00:00:00:00」と表示されます。Wi-Fi機能を利用すると、正しいMACアドレスが反映されます。

プロファイルの管理で利用できる機能

プロファイル設定を確認する

【手動設定画面】 ⇒ 「プロファイル設定」 ⇒ ● ⇒ プロファイルを選択 ⇒ ● ⇒ 確認したい設定を選択 ⇒

プロファイル設定を変更する

【手動設定画面】 ⇒ 「プロファイル設定」 ⇒ ● ⇒ プロファイルを選択 ⇒ ● ⇒ 各項目を変更 ⇒ (2回) ⇒ (完了)

⌚ 変更できる項目についてはP.14-32を参照してください。

プロファイルをコピーする

【手動設定画面】 ⇒ 「プロファイル設定」 ⇒ ● ⇒ コピーするプロファイルを選択 ⇒ ⇒ 「コピー」 ⇒ ● ⇒ コピー先のプロファイルを選択 ⇒ ● ⇒ 「YES」 ⇒ ● ⇒ ⇒ (完了)

⌚ プロファイル名以外のすべての項目がコピーされます。



便利な機能

プロファイル設定を初期化する

【手動設定画面】⇒「プロファイル設定」⇒①⇒初期化したいプロファイルを選択⇒②⇒「プロファイル初期化」⇒③⇒「YES」⇒④⇒⑤⇒⑥ (完了)

☞ 優先接続先設定に登録したプロファイルを初期化した場合、優先接続先設定からも削除されます。

優先接続先の管理で利用できる機能

優先接続先を追加する

【優先接続先設定画面】⇒①⇒「追加」⇒②⇒追加するプロファイルを選択⇒③⇒④

☞ 優先順位が一番低いプロファイルとして追加されます。

優先接続先を上書きする

【優先接続先設定画面】⇒上書きするプロファイルを選択⇒①⇒「上書き」⇒②⇒上書きしたいプロファイルを選択⇒③⇒④

優先接続先を挿入する

【優先接続先設定画面】⇒挿入したい順位を選択⇒①⇒「挿入」⇒②⇒挿入したいプロファイルを選択⇒③⇒④